

# 当病院は「狭心症の既往を有する患者に対する肝切除術の安全性に関する研究」を行っています。

## 【研究の意義・目的】

抗血小板薬や抗凝固薬などを服用されている患者様に外科的治療を行う場合、これらの薬の継続が問題となることがあります。一時的な中止でも血栓塞栓症が発生する可能性がある一方で、薬の継続服用に関連した出血性の合併症が生じる可能性もあります。このため血栓塞栓症の予防を行いつつ、手術に関係した出血性合併症を最小限に抑える工夫が重要になります。

私たちは外科の手術に際して、抗血栓療法を受けている方と受けていない方との間で、短期的には合併症の発症に差がないことを示してきました。今回、狭心症の治療歴がある患者様の肝切除術においても同様に、出血性合併症や梗塞性合併症を上昇させない治療ができているかどうかを確認するために臨床研究を行っています。

## 【研究の対象・内容・期間】

小倉記念病院において 2005 年 1 月から 2014 年 12 月の間に肝切除術を受けた患者様を対象にしています。

ご提供いただく情報は、年齢、性別、基礎疾患の有無、全身状態の分類、手術方法、手術時間、手術中の出血量、輸血の有無、抗血小板薬の有無と種類、抗凝固薬の有無と種類、周術期の抗血栓薬の管理方法などです。また、出血性合併症、梗塞性合併症、術中大量出血の有無も確認します。

この研究は、通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者様に日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 外科 藤川 貴久です。

## 【個人情報の管理について】

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報は固く守られています。また、本研究で得られる患者様の情報は、当院で匿名化した上で研究に登録されます。当院以外の者が患者様を特定できる情報は記載しません。同様に、論文などで発表する場合も個人が特定できないように配慮します。

ご提供いただいた医療データは厳密に保管され、研究終了の2年後に廃棄されます。また、患者様から情報提供を拒否された場合、拒否の連絡を受けた時点で当該データを破棄します。

## 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者様の利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせは、下記連絡先までご連絡ください。

なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 外科 担当者：藤川 貴久、川本 浩史、田中 明

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）